

水稲、小麦、野菜／省力化及び生産拡大、土地利用調整、担い手育成、食農活動  
**農地集積・集約と作業分散により多品目栽培を実現し、地域の食農教育にも貢献**  
 ～鈴木良法氏（愛知県あま市）～

**経営体の概要**

過去：平成22年  
 基幹作物：水稲、こまつな、ほうれんそう等  
 経営面積：23.3ha

現在：令和7年  
 基幹作物：水稲、小麦、ほうれんそう、  
 こまつな、ミニだいこん、なばな、  
 モロヘイヤ、かぼちゃ等  
 経営面積：63.3ha

**土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化**

**【当初】**

- 自然的・社会的状況の変化等に起因して、農業用排水施設の機能が低下。
- 都市化・混在化の進行に伴う家庭雑排水の流入やゴミ投棄等により水質が悪化し農作物に被害。



宮田導水路  
 (雑排水流入)

**【現在】**

- 国営事業等の実施により、用水が安定供給されるほか、農業用水と排水の分離が行われ、生活排水の流入が減少し、水質の改善が図られ、安定した農業生産が維持されている。



犬山頭首工

**営農改善、経営転換等のポイント**

**①省力化及び生産拡大**

国営土地改良事業により農業用水が安定的に供給され、水質改善されたことにより、水稲・小麦・野菜の安定生産が可能となった。

水稲は乾田直播栽培で、作業の省力化を図るとともに、5～6月の作業が減ることで、小麦栽培が可能となった。また、栽培管理を計画的に行うことで、水稲、小麦のほか、野菜の多品目栽培（10品目以上）を行っており、消費者需要や卸先の要望に応じて品目や出荷量、出荷時期の調整を行い、売上向上を図っている。



鈴木 良法 氏

**②土地利用調整**

土地利用に係る調整では、地域全体で効率的に作業ができるよう1つの字を1農家で受託することを目標に、所有者、耕作者と話し合いながら調整して農地集積・集約、規模拡大を図り、作業時間の短縮・コスト削減につなげている。



出荷する野菜

**③担い手育成、食農活動**

J Aから紹介のあった人の研修を随時受入れており、若手農業者の育成を行っている。

また、未来の担い手確保や国産食材の消費拡大の観点から、小学校からの食農教育が重要と考え、J Aと協力して、田植えや収穫作業、野菜栽培等の授業を積極的に行っている。



田植えの説明をする鈴木氏

**事業概要**

事業種：国営総合農地防災事業  
 関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び  
 愛知県名古屋市外12市5町  
 受益面積：10,139ha  
 事業期間：平成10年度～令和9年度（予定）  
 事業目的：農業用排水施設の機能回復  
 主要工事：頭首工補修一式 用水路改修 L=32.0km  
 排水路改修 L=27.3km

**位置図**



新濃尾地区

**<問い合わせ先>**

東海農政局  
 農村振興部農地整備課  
 課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係  
 電話：052-223-4638

（令和7年度調査時点）